

創刊の辞

経済資料協議会会長

杉本俊朗

経済資料協議会は昭和26年発足以来、会員機関の資料収集、情報活動ならびに会員研究機関の研究活動に寄与してきた。また昭和31年以後は『経済学文献季報』によって内外の経済学文献情報を経済学界へ提供し、学界の研究活動にいささか貢献するところがあった。

今回、従来の会報に代って新しい機関誌を創刊することになったが、新機関誌を『経済資料研究』と名付けた意味は二つある。第一にそれは経済資料の収集、整理・保管、利用をめぐる諸問題についての工夫や研究、最近の新しい言葉でいえば経済資料のドキュメンテーションに関する研究を意味する。第二にわれわれは、その当然の前提として、今迄、行なわれねばならなかったにもかかわらず看過されてきた経済資料の内容そのものの組織的研究を、研究者とは自ずから異った独自の立場から行なうことを意図している。

この雑誌が会員ならびに関係諸機関の情報活動に有力な寄与を果し、さらに会員諸機関と経済学界との交流強化の一助となれば幸である。新雑誌に対して関係各位の御批判と御援助を望んでやまない。